

大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻分野構成

詳細は「研究テーマ検索システム」をご覧ください。 <http://reins.tmd.ac.jp/theme?m=home&l=ja>

番号	分野	分野コード	指導教員	研究内容	所属
1	細胞生物学	0010	中田 隆夫	1.細胞内シグナル伝達の光制御 2.カルシウム光スイッチを用いた細胞生物学的研究 3.光遺伝学の再生医療への応用 4.光遺伝学を用いた細胞極性の研究 5.筋肉や神経、骨細胞への分化の研究	M
2	病態代謝解析学	0020	畑 裕 (2022.3.31 定年退職予定)	1.細胞死・細胞増殖を制御するシグナル伝達系 Hippo pathway の解析 2.腫瘍抑制分子 RASSF 蛋白の解析 3.慢性炎症と発がんの関係の解析 4.骨格筋組織幹細胞の自己複製・分化制御の解析および加齢性筋萎縮の病態解明 5.老化促進モデル動物の作製と解析	M
3	国際健康推進医学	0030	藤原 武男	1.社会疫学（社会格差、ソーシャルキャピタル、社会的ネットワーク、社会的サポートの健康影響） 2.ライフコース疫学（子ども期の貧困および逆境体験の健康影響） 3.子ども虐待の予防 4.災害と子どもおよび家族のメンタルヘルス 5.気候変動の健康影響	M
4	国際環境寄生虫病学 ※募集は行わない	0040	(代) 山岡 昇司	1.マラリア原虫薬剤耐性発生要因の解明 2.マラリア原虫転写因子による発育ステージコントロール機構の解明 3.住血吸虫の小分子 RNA による個体間コミュニケーション機構の解明 4.抗住血吸虫薬の作用機序の解明 5.寄生性蠕虫の発生機構の解明	M
5	法医学	0050	上村 公一	1.薬毒物による細胞死の機構に関する研究 2.法中毒学・アルコール医学 3.法医病理学 4.薬物分析	M
6	政策科学	0060	(代) 伏見 清秀	1.医療計画の今日的意義、課題及び医療システムに及ぼす影響について 2.わが国の血液事業の構造分析と政策選択について 3.医療事故防止に関する政府の役割についての研究 4.地域保健システムに関する研究 5.保健医療分野における公共政策の体系化及び評価に関する研究	M
7	神経機能形態学	0070	寺田 純雄	1.細胞骨格動態調節機構の解明 2.生体分子観測及び生体分子間ネットワーク解析のための新規観測法、イメージング手法の開発 3.新規バイオセンサーの開発 4.小分子化合物薬剤等の動態可視化手法の開発	M
8	システム神経生理学	0080	杉原 泉	1.脳の区画構築の形成機構と機能的意義の解析 2.感覚運動、自律神経、認知機能制御の神経回路機構の解析 3.眼球運動系における感覚・運動統御機構の解析	M
9	細胞薬理学	0090	(代) 磯村 宜和	1.神経炎症・神経変性疾患におけるミクログリア Ca チャネルの役割 2.1 細胞レベルでのエネルギー代謝イメージング	M
10	免疫アレルギー学	0100	佐藤 荘	1.自然免疫学に関する基礎・応用研究 2.マクロファージを始めとした免疫細胞のダイバーシティの研究と各々の役割の研究 3.疾患の発症や増悪に関わる遺伝子の探索、その発現調節による創薬研究 4.免疫系-非免疫系細胞のクロストークの解明	M
11	ウイルス制御学 ※募集は行わない	0110	山岡 昇司	1.ヒト免疫不全ウイルス (HIV) の複製と病原性のメカニズム解明 2.ウイルス蛋白質と細胞情報伝達経路の研究 3.効率的レンチウイルスベクター産生法の開発	M

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
12	免疫治療学 ※募集は行わない	0120	(代) 北川 昌伸 (2022.3.31 定年退職予定)	1.抗腫瘍免疫と腫瘍ワクチンに関する研究 2.成人T細胞白血病の免疫学的リスクと免疫治療の研究 3.慢性ウイルス感染における自然免疫応答の研究 4.HIV ゲノム複製制御機構の分子基盤解明の研究	M
13	細胞生理学	0130	磯村 宜和	1.げっ歯類の大脳皮質回路の機能的信号処理の解明 2.げっ歯類の大脳基底核回路の機能的信号処理の解明 3.げっ歯類の脳機能評価に適する行動課題の確立 (修士課程) 4.多領域間の機能的信号処理を探索する新規計測技術の開発	M
14	臨床解剖学	0140	秋田 恵一	1.機能温存手術を指向するための解剖学的基盤の形成 2.臨床解剖学的事項の発生学的基盤の形成 3.比較解剖学手法に基づく形態解析と発生学的研究	M
15	システム発生・再生医学	0150	浅原 弘嗣	1.個体発生における4次元の遺伝子発現ネットワークの解明と疾患研究への応用 2.ノンコーディングRNAによる制御を包括したRNA階層における炎症・癌・再生メカニズムの解析 3.新しいシステムバイオロジー・ポストゲノムアプローチの構築による発生・再生医学と創薬研究 4.ゲノムの4次元ダイナミクス・エピジェネティクスによる組織分化機構の解析と比較進化的研究 5.バイオフィォマティクス、画像データベースやイメージング技術などを統合した in silico での医学研究	M
16	分子腫瘍医学	0160	田中 真二	1.難治性がん(肝癌、膵癌、スキルス胃癌など)の分子メカニズム解析 2.難治性がんの新規分子標的治療の開発 3.難治性がんのエピゲノム変化を指標とした診断・治療の臨床応用 4.がん幹細胞の解析と治療開発 5.幹細胞研究による再生医療開発	M
17	包括病理学	0170	北川 昌伸 (2022.3.31 定年退職予定)	1.レトロウイルス誘発白血病の発生機構と宿主反応の解析 2.骨髄異形成症候群発症のメカニズムに関する分子病理学的研究 3.レトロウイルス感染とアポトーシス制御因子の相互関連の解析 4.腫瘍の薬剤耐性に関する分子病理学的研究 5.造血系系腫瘍における腫瘍細胞と間質細胞の相互作用に関する研究	M
18	人体病理学	0180	大橋 健一	1.早期消化器癌の組織発生、進展のメカニズム 2.ピロリ菌関連胃癌の組織発生 3.全身性肉芽腫疾患サルコイドーシスの病因 4.腎生検診断に基づいた腎疾患の予後予測 5.アミロイドーシスの発生機序と治療効果評価	M
19	診断病理学	0190	明石 巧	1.ヒト疾患の形態学的診断方法の開発 2.癌細胞の間質浸潤の組織学的診断マーカーの開発 3.悪性中皮腫の臨床病理 4.腎糸球体疾患の臨床病理 5.膵神経内分泌腫瘍の臨床病理	M (MH)
20	環境生物学	0200	原 正幸	1.クロマチン高次構造の構築機構に関する研究 2.細胞核のプロテオーム多様性に関する研究 3.細胞の酸化ストレスに対する防御機構に関する研究 4.薬剤、環境物質、放射線等外的要因に対する細胞応答に関する研究	M (RC)
21	シグナル遺伝子制御学	0210	(代) 畑 裕 (2022.3.31 定年退職予定)		M (RC)
22	疾患モデル動物解析学	0220	金井 正美	1.遺伝子改変マウスの作成や遺伝子改変マウスを用いた器官形成の分子生物学的な解析 2.内胚葉決定遺伝子 SOX17 変異マウスを利用した疾患モデルとしての応用 3.着床不全モデルマウスを用いた着床の分子機構の解析	M (EA)

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
23	形成・再建外科学 (形成・再建外科学担当)	0230	森 弘樹	1.3D カメラを用いた乳房形態・顔面形態の研究 2.皮膚温存乳房切除後の知覚回復の検討 3.眼瞼下垂 / 痙攣の分類と形成法のアルゴリズムの開発 4.皮膚・神経相互作用における TRP チャネルとミッドカインの役割の解明 5. マルチスライス CT と ICG 蛍光造影を用いた各種皮弁の血行動態の解明	M
24	形成・再建外科学 (機能再建学担当)	0240	主任教授：森 弘樹 担当教授：田中 颯太郎	1.頭頸部腫瘍切除後における、機能と形状を重視した再建法の開発 2.末梢毛細血管開存率の向上は移植脂肪組織容量の維持に貢献するか？ 3.インドシアニングリーン蛍光測定法を用いた各種移植組織と局所皮弁の血流評価 4.難治性潰瘍（特に足壊疽症例）に対する歩行機能を重視した再建法の開発 5.顔面神経麻痺に対する機能性と審美性を重視した再建法の開発	M 【注1】
25	頭頸部外科学	0250	朝蔭 孝宏	1.頭蓋底解剖 2.頭頸部癌におけるヒト乳頭腫ウイルスの関与について 3.頸部郭清術の標準化 4.頭蓋底手術法の開発 5.中下咽頭表在癌の内視鏡診断と経口腔的摘出術	M
26	腫瘍放射線治療学	0260	吉村 亮一	1.小線源治療に関する探究（口腔癌、前立腺癌、子宮癌など） 2.高精度外部照射治療の適応拡大と臨床的評価 3.集学的治療における放射線治療の探究	M
27	運動器外科学	0270	古賀 英之	1.組織幹細胞を用いた骨・関節組織の再生および再建 2.関節炎と関節線維化のメカニズムの解明とコントロール法の開発 3.骨・関節疼痛メカニズムの解明と治療 4.スポーツ障害のメカニズムの解明と治療法の開発 5.新しい人工関節の開発	M
28	研究開発学	0280	(代) 伏見 清秀	1.包括的医療管理におけるマネジメント技法の開発 2.病院情報管理におけるシステム開発と調達方法の研究 3.電子化診療記録・バスの開発と運用 4.医療事故・医療訴訟と医療の質および法制度改革についての研究 5.医学・医療における科学と倫理の多角的評価方法についての研究	M
29	総合診療医学	0290	竹村 洋典	1.医師の特性と地域住民の受療行動や健康の関連に関する研究 2.AI を用いた医療面接の非言語コミュニケーションに係る研究 3.その他、総合診療に係る研究	M
30	臨床検査医学	0300	東田 修二	1.腫瘍や感染症の新たな遺伝子検査法の開発 2.白血病やリンパ腫細胞の分子病態の解析と薬剤感受性検査への応用 3.新たな分子標的薬の標的となる白血病幹細胞の制御シグナル分子の探索 4.臨床検査で異常値を呈する症例の病態解析	M
31	生体集中管理学	0310	(代) 内田 篤治郎	1.日本に於ける Rapid Response System と患者安全に関する要因解析 2.重症疾患の発症における細胞外小胞の役割に関する検討 3.ICUにおける新規医療機器の開発 4.機械学習を用いた集中治療室における予後予測	M
32	臨床医学教育開発学	0340	山脇 正永	1.医学教育に関する研究 2.多職種連携教育、チーム医療教育に関する研究 3.医療判断及び技術習得に関する認知科学的研究 4.学習理論及び教育研究の社会実装に関する取組 5.健康教育に関する研究	M
33	救急災害医学	0350	大友 康裕	1.各種侵襲による生体反応とその制御の解明、治療法の開発 2.重症胸腹部外傷、多発外傷に関する臨床的・基礎的研究、外傷疫学 3.重症外傷、敗血症における凝固線溶異常に関する研究 4.災害医療 / 大規模地震災害・CBRNE テロ災害に対する研究 5.各種侵襲病態における脂質メディエーター・好中球機能に関する研究	M

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
34	臨床腫瘍学	0360	三宅 智	1.がん患者・家族における緩和ケアの理論と実践 2.がんのプレジジョンメディシン 3.原発不明癌の遺伝子プロファイルによる解析 4.新規抗がん剤におけるバイオマーカーの役割 5.がん診療におけるコミュニケーション・合意形成	M
35	眼科学	0370	大野 京子	1.強度近視の発症機構に関する研究 2.黄斑疾患の発症機構に関する研究 3.ぶどう膜炎の発症機構に関する研究 4.ぶどう膜炎の診断法の開発研究	M
36	耳鼻咽喉科学	0380	堤 剛	1.聴覚平衡覚疾患における分子生物学的研究 2.重力認知の基礎・臨床的研究 3.内耳有毛細胞機能の基礎的研究 4.耳鼻咽喉科領域疾患画像診断・手術支援の研究 5.外耳道癌の診断・治療法の研究	M
37	脳神経病態学	0390	横田 隆徳	1.新規の核酸医薬を用いた神経疾患の遺伝子治療 2.神経変性疾患、神経免疫疾患の病態の解析およびバイオマーカーの検索 3.アルツハイマー病および筋萎縮性側索硬化症（ALS）の発症機序と早期治療戦略の研究 4.脳梗塞の分子病態の解析と新規治療方法の開発 5.神経変性疾患伝播機序の解析とモデル動物（サル）の開発	M
38	精神行動医科学 (精神行動医科学担当)	0400	高橋 英彦	1.脳画像を用いた精神疾患の病態解析と新規治療法開発 2.精神疾患の分子病態解明と新しい治療法開発 3.人工知能技術を用いた精神疾患のバイオマーカーと新規治療法の開発 4.高次脳機能と精神活動の神経科学的研究	M
39	精神行動医科学 (犯罪精神医学担当)	0410	主任教授：高橋 英彦  担当教授：岡田 幸之	1.司法精神医療の全国調査と国際的疫学研究 2.様々な問題行動の生物・心理・社会的要因の解明とリスクアセスメントに関する研究 3.司法精神鑑定の均てん化に関する研究 4.精神科医療における法的問題と法学領域における精神医学的問題 5.精神科医療倫理に関する研究	M 【注1】
40	精神行動医科学 (リエゾン精神医学-精神腫瘍学担当)	1810	主任教授：高橋 英彦  担当准教授：竹内 崇	1.せん妄の臨床的、精神生理学的研究 2.致死性の低い手段による自殺未遂者の予後に関する研究 3.精神疾患およびてんかんの心臓自律神経機能に関する研究 4.がん患者およびその家族の心理、社会学的研究 5.子どもの疾病観や死生観における教科書の影響に関する研究	M 【注1】
41	脳神経機能外科学	0420	前原 健寿	1.脳腫瘍のバイオマーカーの解析と分子イメージングを応用した新規治療法の開発 2.脳血管障害の臨床病態生理解析とその情報にもとづく至適外科的治療介入法の開発 3.難治てんかんの病態解析と外科治療効果に関する研究 4.脳神経外傷における二次損傷機序と高次脳機能障害発生メカニズムの解明とその防御法の研究 5.もやもや病の遺伝子変異背景と病態の関連に関する研究	M
42	血管内治療学	0430	壽美田 一貴	1.中枢神経系及び顔面、頭頸部の脈管発生及び微小血管解剖の研究 2.循環系血流解析及び流体構造連成解析を応用した病態生理の解明と血管内手術法の開発 3.血管内手術周術期の血小板凝集能に関する研究 4.生理活性材料を用いた血管内治療デバイスの開発、評価 5.血管性疾患に対する低侵襲治療法の研究開発	M

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
43	発生発達病態学	0440	森尾 友宏	1.原発性免疫不全症や小児膠原病など、小児期発症の免疫異常症の分子学的背景の 解明と、新規遺伝子治療・細胞治療法の開発 2.小児期悪性腫瘍の遺伝的背景の解明と新規治療の開発 3.肺高血圧症及び遺伝性不整脈の病態解析 4.性分化異常及び先天性副腎過形成の分子機構の解明 5.神経、腎臓、新生児領域及びその他の遺伝疾患などの難治性小児疾患の病態に関 する分子生物学的・生化学的解析	M
44	膠原病・リウマチ内科学	0450	保田 晋助	1.関節リウマチの病態研究および新規治療法の開発 2.多発性筋炎・皮膚筋炎の病態研究および新規治療法の開発 3.全身性エリテマトーデス/抗リン脂質抗体症候群の病態研究 4.小児からの移行期リウマチ性疾患の臨床研究	M
45	皮膚科学	0460	(代) 宮崎 泰成	1.悪性黒色腫の病態解明と治療法の開発 2.色素幹細胞の解析および白斑症の病態解析 3.接触皮膚炎・アトピー性皮膚炎の病因・病態の解析と治療法の開発 4.アレルギー疾患における好酸球、好塩基球の役割解析 5.発汗異常症の病態解析と治療法の開発	M
46	統合呼吸器病学	0470	宮崎 泰成	1.間質性肺炎における肺線維化 2.過敏性肺炎の原因抗原と感受性遺伝子 3.過敏性肺炎の発症機序 4.気管支喘息における気道リモデリング 5.サルコイドーシスの病因 6.睡眠時無呼吸症の病態	M
47	消化器病態学	0480	岡本 隆一	1.免疫調節と再生医療による炎症性腸疾患の治療法開発 2.体外培養を用いた消化管機能の解析 3.消化管・肝臓における幹細胞及び組織再生機構の解析 4.ヒトiPS細胞を利用した消化器・肝胆道疾患病態モデルと分子標的の開発 5.消化管および肝臓における病態形成と発癌機構の解明	M
48	総合外科学	0490	(代) 藤井 靖久	1.大腸癌に対する手術と化学療法の融合的治療 2.乳癌に対する効果的治療法の開発 3.末梢血管外科診療技術の開発 4.小児外科疾患に対する診療技術・治療法の開発	M
49	循環制御内科学	0500	笹野 哲郎	1.心血管疾患に対する遺伝子治療・核酸治療法の開発 2.遺伝的素因と後天的素因による心房細動の発症メカニズム解明 3.AIを用いた心血管疾患の新規診断と発症予測 4.不整脈疾患における細胞間・臓器間コミュニケーションの解明 5.オートファジー・ミトファジーが心不全を生ずるメカニズムの解明	M
50	心肺統御麻酔学	0520	内田 篤治郎	1.周術期臓器障害の病態生理に関する研究 2.周術期臓器障害におけるバイオマーカーに関する研究 3.周術期凝固機能モニタリングに関する研究 4.麻酔法の選択が予後に及ぼす影響に関する研究 5.周術期データベースに基づく術後臓器合併症の予測因子に関する研究	M
51	心臓血管外科学	0530	荒井 裕国 <small>(2022.3.31 定年退職予定)</small>	1.冠動脈バイパス術の安全性と質の向上を目的とした研究 2.虚血性心筋症に対する新しい術式開発 3.弁膜症における心拍動下弁形成術の開発 4.心臓・肺移植の研究 5.重症不全心に対する心機能改善を目的とした再生医療の研究	M
52	腎臓内科学	0540	内田 信一	1.腎臓における水・電解質輸送機構の研究 2.腎疾患、膜輸送体病の新規治療法の開発 3.慢性腎臓病 (CKD) の病態解明と治療法開発 4.遺伝性腎疾患の網羅的遺伝子解析 5.腎臓病患者由来 iPS 細胞を用いた病態生理解明	M

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
53	生殖機能協関学	0550	宮坂 尚幸	1.生殖内分泌領域での、卵巣機能、受精・着床機序の基礎的な解析 2.胎児・周産期医学領域での、胎児脳虚血診断法、子宮筋や末梢血管の収縮機構の 解明 3.女性発達・加齢医学領域での、更年期障害、骨粗鬆症や動脈硬化の成因の解明と 治療法 4.性器感染学領域における、絨毛への各種ウイルスの感染機構の解析 5.婦人科悪性腫瘍の遺伝子解析や病理組織学的な解析	M
54	腎泌尿器外科学	0560	藤井 靖久	1.腎・膀胱・前立腺癌の新規低侵襲手術（ロボット支援手術、ミニマム創内視鏡下 手術） 2.筋層浸潤膀胱癌に対する膀胱温存療法の開発 3.腎癌の血流非遮断腎無縫合腎部分切除法の開発 4.前立腺癌に対する前立腺部分治療の開発 5.泌尿器科領域における新規画像診断の開発と活用	M
55	歯学教育システム評価学	0570	(代)新田 浩	1.歯学教育カリキュラム評価方法の開発・実践・解析 2.歯学教育システム評価における普遍性・妥当性・信頼性の検証法の開発 3.卒前および卒直後における国際的な教育水準評価システムの開発 4.バーチャルリアリティ教育シミュレーションシステムによる歯科技能向上プログラ ムの開発	D (CE)
56	消化管外科学	0580	絹笠 祐介	1.消化器癌手術の根治性と機能温存の両立を目指した新規手術手技の開発 2.食道および胃、大腸肛門疾患領域の低侵襲治療に関する臨床研究 3.消化器外科手術における新規医療機器の開発	M
57	呼吸器外科学	0590	大久保 憲一	1.肺癌手術の低侵襲化の研究 2.局所進行肺癌に対する集学的治療 3.転移性肺腫瘍に対する外科的治療の研究 4.肺癌術後補助治療法の研究 5.悪性胸膜中皮腫に対する外科治療を含む集学的治療	M
58	血液内科学 (血液内科学担当)	0600	森 毅彦	1.造血器腫瘍の発症と治療抵抗性獲得の病態解析 2.造血器疾患の感染症を含めた合併症の新規の診断法および治療法の開発 3.造血器腫瘍に対する新規の細胞療法の開発	M
59	血液内科学 (造血器疾患免疫治療学担当) ※募集は行わない	0610	主任教授：森 毅彦 担当教授：川又 紀彦	1.造血器疾患の遺伝子異常の解析 2.造血器疾患のモデル動物の作成 3.造血器疾患に対する免疫治療の開発	M 【注1】
60	分子内分泌代謝学	0620	山田 哲也	1.糖尿病とメタボリックシンドロームの成因の解明と新しい治療戦略の開発 2.熱産生機能とエネルギー代謝調節機構の解明 3.熱産生脂肪の誘導分子機構の解明 4.メタボリックシンドロームのエピゲノム制御と医学応用 5.ホルモン産生腫瘍の発生機構と病態に関する分子医学的研究	M
61	肝胆膵外科学	0630	田邊 稔	1.肝胆膵領域悪性疾患における手術を基軸とした集学的治療の確立 2.肝胆膵領域手術における低侵襲治療の開発 3.肝胆膵領域悪性疾患に対する新規治療薬や治療感受性マーカーの開発 4.肝移植の基礎臨床研究 5.肝臓微小循環に関する病態・生理学的研究	M
62	整形外科	0640	大川 淳	1.骨軟骨代謝に関する研究 2.人工材料（骨、神経）の臨床応用に向けての研究 3.靭帯骨化症の発生メカニズム 4.脊髄磁場計測機器の開発 5.転移性骨脊髄腫瘍の研究	M
63	薬物動態学	0650	永田 将司	1.病態時における薬物動態と薬効の速度論解析 2.治療薬物モニタリングに基づく臨床薬物動態解析 3.AIを利用した薬物動態及び薬効の予測	M (MH)

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
64	リハビリテーション医学	0660	(代) 大川 淳	1.人工関節置換術のリハビリテーション 2.上肢下肢の3次元動作解析と歩行分析 3.リハビリテーションにおける安全管理 4.リハビリテーションにおける栄養管理 5.スポーツ傷害予防に向けたバイオメカニクス研究	M (MH)
65	医療政策情報学	0670	伏見 清秀	1.診断群分類 DPC の開発と DPC 包括評価のための診療情報管理 2.地域医療提供体制の設計と評価に関する定量的な分析手法の開発 3.医療機関プロファイリングと医療機能評価の方法論 4.保健医療システムにおける電子データの総合的活用方法 5.医療コスト分析と医療経営管理	M
66	画像診断・核医学	0680	立石 宇貴秀	1.新規診断装置の開発 2.人工知能を利用した画像診断装置の開発 3.放射性同位元素を用いた臨床試験・治験方法の開発 4. GMP管理下の新薬開発	M (MH)
67	先進倫理医科学	0690	吉田 雅幸	1.医科学研究における生命倫理の様々な問題についての研究 2.研究倫理審査体制の効率の運営に関する研究 3.臨床遺伝学に関する研究 4.認定遺伝カウンセリングコース：このコースは当分野の修士課程のみに設置されます。詳細については下記の HP で確認してください。 <a href="http://www.tmd.ac.jp/bec/45_5b0631b6d7471/genetic-counseling.html">http://www.tmd.ac.jp/bec/45_5b0631b6d7471/genetic-counseling.html</a> 5.動脈硬化症・生活習慣病についての基礎・臨床研究	M (ME)
68	口腔病理学	0700	池田 通	1.口腔癌による骨破壊機構に関する研究 2.口腔癌の進展および微小環境に関する研究 3.機械学習による病理診断システムの開発 4.唾液腺腫瘍の診断に有効な新たな分子に関する研究	D
69	細菌感染制御学	0710	鈴木 敏彦	1.細菌の宿主認識、定着、増殖等の感染メカニズムの解明 2.インフラゾームをはじめとする宿主自然免疫機構の活性化と制御機構の解明 3.比較ゲノム・遺伝子発現解析による病原性遺伝子の解析 4.細菌の定着が与える慢性疾患への影響に関する解析	D
70	分子免疫学	0720	東 みゆき	1.感染・アレルギー・自己免疫・癌などの免疫病における細胞および分子機能の解析 2.リンパ球機能分子の解析とそれを標的とした免疫療法開発 3.口腔免疫応答の解析 4.免疫制御による口腔疾患の治療法開発	D
71	先端材料評価学	0730	宇尾 基弘	1.歯科用ガラス・セラミック材料の開発と評価 2.生体内微量元素の分布及び状態解析 3.歯科用コンポジットレジン物の物性改善に関する研究 4.歯科・生体材料及び生物試料の非破壊分析法の開発 5.各種歯科材料及び歯質の物性評価	D
72	顎顔面解剖学	0740	柴田 俊一 (2021.9.30退職予定)	1.器官培養法を用いた歯胚、歯根形成機構の解明 2.歯の幹細胞 nich の構造と機能に関する研究 3.口腔顔面領域における細胞外基質成分の解析 4.顎骨、下顎頭軟骨の構造解析 5.歯および歯周組織の形態および発生に関する研究	D
73	認知神経生物学	0750	上阪 直史	1.生後発達期におけるシナプス刈り込みのメカニズム解明 2.脳発達、脳機能、脳疾患におけるグリア細胞の役割の解明 3.口腔-脳クレストークの研究 4.脳腫瘍進展における腫瘍-微小環境インタラクションの解明 5.細胞間相互作用を解明するための革新的イメージングプローブの開発	D
74	分子発生学	0760	井関 祥子	1.頭蓋顎顔面の形態形成の分子機構 2.頭蓋顎顔面組織の発生の分子機構と再生への応用法の開発 3.先天異常の発症メカニズムの分子学的解析とその臨床への応用	D

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
75	分子細胞機能学	0770	(選考中)	1.ギャップ結合を介した細胞間情報伝達系に関する研究 2.骨のリモデリング機構の解明	D
76	硬組織構造生物学	0780	(代) 秋田 恵一	1.齶歯類を用いた歯の器官発生と細胞分化の研究 2.齶歯類を用いた口腔組織や歯周組織の発生研究 3.魚のウロコと歯を用いた歯の起源と進化の研究	D
77	硬組織薬理学	0790	(代) 古川 哲史	1.歯、骨の形成・吸収機構の薬理的解析 2.口腔組織に発現する薬物副作用の解析 3.歯髄疾患治療薬の創薬 4.口腔領域における重金属結合蛋白質メタロチオネインの薬理的解析	D
78	結合組織再生学 ※募集は行わない	0800	(代) 渡部 徹郎		D
79	病態生化学	0810	渡部 徹郎	1.がん微小環境の多角的理解 2.内皮間葉移行 (EndMT) によるがん間質の形成機構の解明 3.腫瘍血管・リンパ管を標的としたがんの進展と転移の抑制への試み 4.リソソーム膜の機能・構造解析 5.ヘパラン硫酸プロテオグリカンを介したロジスティックス	D
80	分子情報伝達学	0820	中島 友紀	1.破骨細胞・骨芽細胞・骨細胞など骨構成細胞の細胞内シグナル伝達機構の解明 2.骨・運動器疾患の発症メカニズムと新規治療法の開発 3.骨と全身性制御システム (オステオネットワーク) の創成	D
81	法歯学	0830	櫻田 宏一	1.歯科所見による個人識別 2.歯や骨などの硬組織、軟組織や体液を用いた個人識別 3.復顔や画像解析による個人識別 4.生化学的あるいは分子生物学的手法を用いた新たな個人識別法の開発	D
82	医療経済学	0840	川淵 孝一	1.医学、歯学、看護、介護、薬学などを経済的視点から横断的に研究 2.効率的な医療・介護・福祉のあり方についての政策提言 3.歯科、医科、経済、経営、会計など各種の専門性の融合と相互発展	D
83	歯学教育開発学	0850	森尾 郁子	1.医療専門職業人教育のためのカリキュラム研究 2.歯科医学教育の国際比較 3.医療専門職業人教育における教育手法の研究・開発 4.医療専門職業人教育における英語教育に関する研究・開発	D
84	口腔病態診断科学	0860	(選考中)		D (DH)
85	口腔放射線腫瘍学	0870	三浦 雅彦	1.分子イメージングによる腫瘍の放射線反応性の可視化に関する研究 2.DNA 損傷応答機構に関する研究 3.放射線抵抗性シグナル伝達機構に関する研究 4.口腔領域がんの放射線治療に関する臨床研究	D
86	顎口腔外科学	0880	原田 浩之	1.口腔がんの浸潤・転移に関する分子生物学的研究 2.口腔がん術後の機能障害・QOL に関する研究 3.口腔がんの臨床的・基礎的研究 4.Tissue engineering による顎骨再建に関する研究	D
87	口腔放射線医学	0890	倉林 亨 (2022.3.31 定年退職予定)	1.画像診断の有効性の向上に関する研究 2.顎顔面領域における新しい MRI 撮像シーケンスの開発 3. Sectional Imaging を利用した顎顔面領域疾患の鑑別診断法に関する研究 4.細胞の放射線感受性遺伝子に関する研究	D
88	歯科麻酔・口腔顔面痛制御学	0910	前田 茂	1.非侵襲ドラッグデリバリーシステムの開発 2.麻酔薬の中枢神経系に対する抗炎症・保護作用について 3.不安感の中枢メカニズム 4.慢性疼痛の原因及び慢性疼痛に関連する背景要因の解明 5.顎関節症とブラキシズム (睡眠時、覚醒時) に関する研究	D



番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
89	小児歯科学・障害者歯科学	0920	岩本 勉	1.歯および骨の発生・小児の情動変化に関する基礎的研究 2.小児の歯と歯髓の診査法・診断法の研究開発 3.小児口腔の形態と機能の異常とその治療に関する研究 4.口腔バイオフィルムの形成と抑制 5.障害者の口腔内環境と歯科治療 6.身体障害者への口腔保持型自助具の設計・製作	D
90	咬合機能矯正学	0930	小野 卓史	1.呼吸機能と顎顔面頭蓋の形態・機能並びに中枢に関する網羅的研究 2.顎顔面口腔機能と中枢・末梢神経の可塑的变化に関する神経生理学的研究 3.顎顔面頭蓋と顎関節に関する形態学的並びに分子細胞生物学的研究 4.各種機能変化や機械的刺激に対する生物学的応答や組織再生に関する分子細胞生物学的研究 5.矯正歯科治療に伴う咬合の形態的並びに機能的改善に関わる生体材料学的・生体工学的・生力学的研究	D
91	う蝕制御学	0940	(代) 興地 隆史	1.う蝕予防法の開発と評価 2.う蝕診断法の開発と評価 3.接着性レジン修復法の改良と評価 4.歯質保存的な審美修復法の開発と評価 5.歯のホワイトニング治療材料と技法の開発と評価	D
92	摂食機能保存学	0950	(代) 若林 則幸	1.新規修復材料の開発および CAD/CAMなどを応用したメタルフリー修復に関する研究 2.咬合、咀嚼に関する研究（下顎位、下顎運動、咬合器、咀嚼効率など） 3.顎口腔機能に調和した歯冠補綴装置作製のためのCADに関する研究 4.歯科材料が生体へ及ぼす影響に関する研究（金属アレルギーなど） 5.表面改質と構造制御による新規セラミックバイオマテリアルの開発	D
93	歯髓生物学	0960	興地 隆史	1.歯髓組織再生 2.歯髓疾患・根尖性歯周疾患の免疫組織化学的、分子生物学的解析 3.Ni-Ti ロータリーファイルの評価と改良 4.レーザー、歯科用 CT および光干渉断層画像診断法の歯内療法への応用	D
94	部分床義歯補綴学	0970	若林 則幸	1.部分床義歯装着者の機能と感覚の評価 2.応力解析に基づく部分床義歯の設計最適化 3.新しい義歯用材料の臨床応用 4.義歯装着者の口腔組織の評価 5.部分床義歯の疫学と教育	D
95	インプラント・口腔再生医学	0980	(代) 若林 則幸	1.次世代歯科インプラントの開発 2.インプラント支持組織の経時的変化 3.インプラント上部構造の適性化 4.骨および軟組織の再生	D
96	顎顔面外科学	0990	依田 哲也	1.顎変形症・口唇口蓋裂に関する臨床的研究 2.顎骨と歯槽骨の再建のための骨の再生および細胞生物学的研究 3.顎関節・咀嚼筋疾患に関する基礎的・臨床的研究 4.顎口腔疾患の遺伝子診断と治療に関する研究	D
97	顎顔面矯正学	1000	森山 啓司	1.顎顔面の成長発育疾患および先天性疾患の発症機構ならびに診断・治療法開発に関する研究 2.新規歯科矯正用装置の開発に向けた生体材料工学的研究 3.顎口腔成長ならびに不正咬合発症に関する疫学的研究 4.メカニカルストレスと骨代謝に関する研究 5.顎口腔機能と中枢神経系に関する研究	D
98	顎顔面補綴学	1010	(代) 若林 則幸	1.顎顔面欠損患者の補綴診断に関する研究 2.顎顔面欠損患者の機能回復のための補綴治療法に関する研究 3.顎顔面欠損患者の咀嚼機能評価に関する研究 4.顎顔面欠損患者の発話機能評価に関する研究 5.顔面補綴に用いる材料の開発に関する研究	D

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
99	歯周病学 (歯周病学担当)	1020	岩田 隆紀	1.歯周組織の再生と幹細胞治療に関する研究 2.歯周病発症メカニズムに関する研究 3.歯周病と全身疾患との関わりに関する研究 4.歯周病とインプラント周囲炎に関する細菌叢の解析	D
100	歯周病学 (歯周光線治療学担当)	1030	主任教授：岩田 隆紀 担当教授：青木 章	1.レーザー・LEDの歯周治療・インプラント周囲炎治療への応用に関する研究 2.レーザー・LEDの細胞組織への Photobiomodulation (PBM) 効果に関する研究 3.光線抗菌力学療法 (a-PDT) の歯周治療・インプラント周囲炎治療への応用に関する研究 4.光干渉断層診断装置 (OCT) の歯周治療への応用に関する研究	D 【注1】
101	健康推進歯学	1040	相田 潤	1.口腔疾患や口腔と全身の健康の関係、口腔疾患の予防に関する疫学研究 2.健康の社会的決定要因と健康格差、オーラルヘルスプロモーションに関する研究 3.地域歯科保健と国際歯科保健に関する研究 4.口腔保健医療システムに関する研究 5.遠隔歯科医療システムの構築に関する研究	D
102	スポーツ医歯学	1050	上野 俊明	1.運動と口内環境の関係、炎症免疫や疾患外傷リスクの変化 2.咀嚼・咬合と全身、特に運動能力や脳機能との関連性 3.高性能マウスガード/フェイスガードの設計、材料および製法 4.スポーツ用センサデバイスの開発 5.歯科疾患・外傷障害に対する高気圧酸素治療の応用	D
103	高齢者歯科学	1060	水口 俊介	1.高齢者の歯科治療時の全身管理に関する研究 2.高齢者の摂食嚥下リハビリテーションに関する研究 3.インプラントオーバーデンチャーに関する研究 4.CAD/CAMによる全部床義歯製作に関する研究 5.高齢社会に適応した新しい義歯関連材料の開発	D 【注3】
104	総合診療歯科学	1080	(代)新田 浩	1.複数の症状を訴える患者の診断と治療計画の多様性に関する研究 2.正確な診断を行うために必要な様々な因子の分析に関する研究 3.学生・研修医の能力向上のためのトレーニング方法の開発に関する研究 4.歯科医療における行動科学的研究 5.歯科医学教育のカリキュラム開発とその評価に関する研究	D
105	歯科心身医学	1090	豊福 明	1.歯科心身症の治療技法の開発・改良と病態解明 2.歯科領域における“medically and psychiatrically unexplained symptoms”に関する心身医学的研究 3.歯科心身症の薬剤反応性に関する臨床的研究 4.痛みや咬合に関連した歯科心身症の脳機能画像研究 5.歯科心身症診療ガイドラインの策定	D
106	先駆的医療人材育成	1110	高田 和生	1.次世代の医療ニーズ同定のための調査と研究 2.次世代の医療ニーズに即した医師・歯科医師および生命科学研究者育成のための教育カリキュラムの研究	M
107	教育メディア開発学	1120	木下 淳博	1.コンピュータシミュレーション教育システムの開発と活用に関する研究 2.医療系教育におけるeラーニングシステムの活用に関する研究 3.シミュレーション実習用技能評価装置の研究 4.歯科実習用顎模型の研究・開発 5.術者目線自動撮影・表示・録画システムの歯学教育への活用に関する研究	D
108	生涯口腔保健衛生学	1130	荒川 真一	1.オゾンウルトラファインバブル水の基礎・臨床研究(創傷治癒、口腔粘膜炎症、歯周治療、菌血症・誤嚥性肺炎の予防、歯科用ユニット細管内細菌の除去) 2.微酸性電解水の臨床研究(菌血症・誤嚥性肺炎の予防、歯科用ユニット細管内細菌の除去) 3.周術期等口腔健康管理に関する歯科衛生士教育システムの開発・評価	OH
109	健康支援口腔保健衛生学	1140	樺沢 勇司	1.がん治療や周術期の口腔機能管理学に関する研究 2.新規口腔清掃方法や口内炎予防、治療薬の開発 3.口腔の健康と社会格差に関する研究	

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
110	口腔疾患予防学	1150	品田 佳世子	1.口腔疾患の予防方法の開発・評価 2.口腔疾患予防と健康増進に関わる研究 3.口腔疾患予防に応用できる物質・製品の開発・評価 4.口腔疾患予防に関する教育システムの開発・評価 5.歯科衛生教育に関する研究	OH
111	地域・福祉口腔機能管理学	1160	松尾 浩一郎	1.地域在住高齢者へのオーラルフレイル予防プログラムの開発 2.要介護高齢者の食事モニタリングシステムの開発 3.自立高齢者を増やすための革新的食品提供システムの開発 4.脳卒中回復期における口腔機能管理システムの構築 5.がん周術期患者の術後早期口腔機能回復プログラムの開発	OH
112	口腔健康教育学	1170	吉田 直美	1.口腔健康教育手法の開発と研究 2.口腔健康支援におけるアセスメントツールの開発と研究 3.歯科衛生教育に関する研究 4.チームアプローチにおける歯科衛生士の役割	
113	口腔保健衛生基礎学	1180	(選考中)		
114	金属生体材料学 ※募集は行わない	1190	埜 隆夫	1.MRI アーチファクトを抑制するジルコニウム合金の開発 2.電気化学的表面処理・表面改質による金属の生体機能化 3.強加工によるチタン合金の高強度化 4.金属表面ナノ構造による幹細胞分化制御 5.材料-生体組織界面反応の解明	BM
115	無機生体材料学	1200	川下 将一	1.深部がん血管内治療用セラミックマイクロ/ナノ粒子の創製 2.表面化学処理によるチタン表面への抗菌性・生体活性酸化チタン層の形成 3.水酸アパタイトの骨結合機構の解明-タンパク質吸着からの検討- 4.無機-有機複合体からなる創傷被覆材の創製 5.有機修飾型リン酸ハカルシウムのバイオメディカル応用	D (BM)
116	有機生体材料学 ※募集は行わない	1210	由井 伸彦	1.細胞組織機能調節を目指した動的超分子表面の設計 2.難治疾患治療を目指した細胞内分解性超分子の設計 3.生体分子の生理活性亢進と細胞機能誘導を目指した超分子複合体の設計 4.組織再生を目指した超分子三次元体の設計	BM
117	センサ 医工学	1220	三林 浩二	1.「センサ医工学」に関する基礎・応用研究(電気・光・バイオ・機械・情報の融合) 2. MEMS技術と生体適合性ポリマーを融合したウェアラブルデバイス及び人工臓器 3. 疾病に基づく「呼吸成分」のバイオ蛍光法による高感度センシング 4. 血液由来の皮膚ガス成分のリアルタイム動画像化(イメージング)と代謝評価 5. 表面プラズモン技術を用いた生体&環境情報の高感度モニタリング	BM
118	バイオ情報	1230	中島 義和	1.生体イメージングに関する基礎・応用研究 2.医用画像・医用データの高次元化・多元化に関する研究 3.医用データのコンピュータ解析・診断に関する研究 4.生体情報記述、生体モデリング、生体シミュレーションならびにその医療応用に関する研究 5.コンピュータ統合手術支援システムに関する研究	BM
119	バイオエレクトロニクス ※募集は行わない	1240	宮原 裕二 (2022.3.31定年退職予定)	1.バイオセンシング工学に関する基礎・応用研究 2.生体分子・細胞応答の電気計測に関する研究 3.固/液界面の化学修飾と生体分子・細胞の機能発現に関する研究 4.機能性高分子材料の合成と生体制御デバイスの開発 5.ナノ・マイクロテクノロジーを利用したセンサ材料の研究	BM
120	バイオデザイン	1800	(選考中)	1.低侵襲手術における手術工程・技能解析の研究 2.手術工程の自動制御の研究 3.工程・技能を誘導するナビゲーションシステムならびにロボティクスの研究 4.デジタルデータを用いた医療トレーニングシステムの研究 5.手術環境の最適化に関する研究	BM
121	バイオメカニクス	1250	(選考中)		BM

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
122	物質医工学	1260	岸田 晶夫	1.再生医療に貢献する材料および工学技術の開発 2.生体由来材料の加工・高機能化技術の開発 3.医用材料の新規炎症性評価法の開発 4.ナノベシクルによる細胞機能制御技術の基礎および開発研究 5.免疫制御のための高選択的細胞捕獲デバイスの開発	BM
123	薬化学	1270	影近 弘之	1.レチノイド及び核内受容体の医薬化学 2.難治疾患治療を志向した遺伝子転写及びシグナル伝達制御剤の創製 3.新規蛍光物質の開発を基盤とした細胞内情報伝達機構の解明 4.芳香族アミドの立体特性と機能性分子創製	BM
124	生命有機化学	1280	細谷 孝充	1.新しい分子骨格の有機合成法開発にもとづく薬剤候補化合物の創出 2.歪み分子の特性を利用した新規分子連結法の開発 3.薬剤の標的タンパク質同定のためのプローブ開発 4.生体イメージング用蛍光プローブ、生物発光基質、PET プローブの開発	BM
125	メディシナルケミストリー	1290	玉村 啓和	1.有機合成化学による機能性分子の創製 2.ペプチドおよび他の天然物を基にした創薬研究・ケミカルバイオロジー研究 3.がん・COVID-19・アルツハイマー・関節リウマチ等をターゲットとした医薬創製 4.蛍光プローブ（生体機能探索分子）の創製とこれを用いる機能解明	BM
126	生体材料機能医学	1300	位高 啓史	1.mRNA医薬・核酸医薬の分子設計 2. mRNA・核酸医薬送達に応用するDDS 3. 難治疾患治療、再生医療への展開 4. 新規画像診断システムの開発	M (BM)
127	幹細胞医学	1310	西村 栄美	1.皮膚における組織幹細胞の同定 2.組織幹細胞の維持機構の解明 3.組織の老化メカニズムの解明 4.幹細胞システムにおける癌発生機序の解明 5.組織幹細胞を制御する技術の開発	M (MR)
128	神経病理学	1320	岡澤 均	1.ポリグルタミン病の分子機構の解明 2.アルツハイマー病の分子機構の解明 3.神経変性疾患の新しい分子治療法の開発 4.神経幹細胞の分化機構の解明と治療応用	M (MR)
129	生体防御学	1330	樗木 俊聡	1.単球・マクロファージによる疾患病態の解明と治療応用 2.ミクログリアの転写制御変容による脳恒常性機能低下機構の解明 3. ストレス造血時のミエロイド系細胞分化機構の解明 4. ヒト扁平上皮癌オルガノイドバイオバンクの構築と治療応用 5. 新規ヒトCOVID-19後遺症モデルマウス作製と病態解明	M (MR)
130	病態細胞生物学	1340	清水 重臣	1.細胞死の分子メカニズム解明と疾患への応用 2.オートファジーの分子メカニズム解明と疾患への応用 3.ミトコンドリア異常に起因する疾患の分子メカニズム解明とそれに基づく治療戦略開発 4.臓器の虚血障害（心筋梗塞など）に対する治療法開発 5.難治性ウイルス感染症モデルマウスの作成と病態解析・治療薬開発への応用	M (MR)
131	分子代謝医学	1350	(選考中)		M (MR)
132	幹細胞制御	1360	田賀 哲也	1.神経幹細胞の未分化性維持と細胞系譜制御に関する研究（特論のみ） 2.胎生期の造血幹細胞の性状とその発生および増殖分化制御に関する研究（特論、演習のみ） 3.癌幹細胞および癌幹細胞ニッチの分子基盤ならびにその制御に関する研究 4.幹細胞制御を司るシグナル伝達経路とエピゲノム機構の研究	M (MR)
133	医化学	1370	瀬川 勝盛	1.膜脂質を移層・感知する分子の同定 2.膜脂質の動態の異常と疾患 3.細胞の恒常性を制御する分子の同定	MR
134	遺伝制御学	1380	(選考中)		M (MR)

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
135	分子細胞生物学	1390	澁谷 浩司	1.細胞増殖・分化因子と細胞内シグナル制御機構 2.疾患発症の分子機構 3.形態形成・器官形成の分子機構	MR
136	発生再生生物学	1400	仁科 博史	1.細胞の生死や器官形成を制御するシグナル伝達系に関する研究 2.幹細胞の増殖や分化誘導シグナルに関する研究 3.マウスや小型魚類を用いた肝臓研究 4.概日リズムを制御する分子時計に関する研究	MR
137	免疫学	1410	鏑田 武志  (2022.3.31定年退職予定)	1.SLE やギラン・バレー症候群などの自己免疫疾患における自己抗体産生メカニズムの解明 2.B リンパ球活性化における細胞内小器官シグナル伝達 3.糖鎖シグナルによる抗体産生の制御 4.制御性 B 細胞を標的とした多発性硬化症や 1 型糖尿病の治療薬の開発 5.新規がん免疫療法の開発	MR
138	エピジェネティクス	1420	(選考中)	1.ヒト遺伝病・哺乳類の個体発生におけるゲノムインプリンティング機構の役割 2.ヒトを含む哺乳類の生殖機構とエピジェネティック・リプログラミングに関する研究 3.レトロエレメント由来の獲得遺伝子による哺乳類の進化機構の解析	MR
139	分子構造情報学	1440	伊藤 暢聡	1.X 線結晶解析やクライオ電子顕微鏡を用いた構造生物学 2.蛋白質間相互作用の構造学的・物性的解析 3.蛋白質による低分子（薬剤）の分子認識機構 4.シミュレーションなどの立体構造を応用した構造情報科学	MR
140	分子神経科学	1450	田中 光一	1.精神疾患の病態解析 2.神経変性疾患の病態解析 3.脳の形成機序における神経伝達物質の役割 4.グリア細胞の脳における機能 5.ゲノム編集による精神神経疾患モデルの作製	M (MR)
141	分子細胞循環器学 ※募集は行わない	1460	古川 哲史	1.不整脈・突然死のオーダーメイド医療 2.心血管病の核酸医療の基礎研究 3.再生心筋細胞（主に iPS 細胞）を用いた心血管研究 4.疾患モデルマウスを用いた心血管研究 5.心血管系の性差医療の基礎研究	M (MR)
142	分子細胞遺伝学 ※募集は行わない	1470	稲澤 譲治  (2022.3.31 定年退職予定)	1.統合的ゲノム・エピゲノム解析による難治がんと遺伝疾患の原因遺伝子の同定 2.マイクロ RNA を用いた核酸抗がん薬の開発 3.オートファジー・細胞内代謝を標的とした癌治療戦略の開発 4.多発奇形・精神発達遅滞・てんかん等の原因不明遺伝疾患の病態解明	M (MR)
143	遺伝子応用医学	1480	三木 義男  (2022.3.31 定年退職予定)	1.ヒト発がんの分子メカニズムの解析 2.がん生物学・ゲノム科学の統合による乳がんの先進的診断・治療法の開発 3.発がん DNA 損傷応答機構の解析 4.遺伝性乳がん・卵巣がん症候群の新たな分子遺伝学 5.がんのゲノム情報科学	M (MR)
144	分子疫学 ※募集は行わない	1490	村松 正明  (2022.3.31 定年退職予定)	1.生活習慣病の発症に関わる遺伝子と環境因子の交互作用 2.生活習慣病胎児期発症説に関する基礎研究 3.疾患バイオインフォマティクス 4.環境とエピゲノム変化 5.パーソナルゲノム情報の医療への応用研究	M (MR)
145	ゲノム機能情報	1500	二階堂 愛	1.機械学習や計算機科学を利用した大規模ゲノム解析のためのデータサイエンス技術の開発 2.大規模ゲノム科学分野の新しい実験技術の開発 3.大規模ゲノム解析技術を用いた再生医療・創薬研究	MR

番号	分野	分野コード	指導教員	研究内容	所属
146	ゲノム機能多様性	1510	高地 雄太	1.多因子疾患の感受性遺伝子領域における遺伝子機能解析 2. 遺伝子多型が発現やスプライシングに与える影響の網羅的解析 (eQTL/sQTL解析) 3. GWASやeQTLなどのビッグデータを横断的に解析することによる疾患へのアプローチ 4. ゲノム情報を用いた疾患の病態予測法の樹立	M (MR)
147	脂質生物学	1520	佐々木 雄彦	1.がん、炎症性疾患、神経変性疾患等の脂質プロファイリングによる本態解明 2.質量分析をベースとした脂質解析技術の開発 3.疾患の原因となる生理活性脂質の探索 4.疾患を反映する生理活性脂質の探索 5.脂質代謝酵素 (PI3K、PTEN など) 欠損マウスの病態解析	M (MR)
148	理研生体分子制御学	1530	分野長：谷内 一郎 袖岡 幹子 渡邊 信元 田中 元雅 田中 克典 萩原 伸也	1. 生体分子によるリンパ球・分化との制御機構 (担当教員：谷内一郎) 2. 有機合成化合物を基盤とする生体機能制御分子の創製と化学生物学研究 (担当教員：袖岡幹子) 3. 生体機能を調節する生理活性物質の探索、標的同一、作用機作 解析研究 (担当教員：渡邊信元) 4. 神経細胞における生体分子の解析による精神・神経変性疾患研究 (担当教員：田中元雅) 5. 生体内での有機合成化学による創薬研究と医療診断技術 (担当教員：田中克典) 6. 植物の生理機能制御を目指した化学遺伝学研究 (担当教員：萩原伸也)	※1 【注2：連携大学院分野】
149	NCNP脳機能病態学	1540	分野長：星野 幹雄 一戸 紀孝 後藤 雄一 青木 吉嗣 山下 祐一 大木 伸司	1.マウス分子遺伝学による脳神経系の発生機構の解明 (担当教員：星野幹雄) 2.霊長類をモデル系とした脳神経系の構造と生理の統合的解析 (担当教員：一戸紀孝) 3.発達障害の分子遺伝学的研究 (担当教員：後藤雄一) 4.神経・筋疾患の病態の理解と治療法の開発 (担当教員：青木吉嗣) 5.脳の計算理論を用いた精神障害の病態理解 (担当教員：山下祐一) 6.中枢神経疾患における免疫異常の意義の解明研究 (担当教員：大木伸司)	※2 【注2：連携大学院分野】
150	都医学研疾患分子生物学	1550	分野長：原 孝彦 新井 誠 長谷川 成人 七田 崇 宮岡 佑一郎	1.ES/iPS 細胞を用いた血液細胞の再生と CXCL14 等を利用したがん・白血病治療薬の開発 2.iPS 細胞を用いた研究を含む分子生物学的アプローチによる精神疾患の原因解明と治療法開発 3.神経変性疾患の分子病態解明と治療に関する研究 4.脳卒中における神経免疫学と神経修復を促進する治療剤の開発 5.iPS 細胞のゲノム編集による疾患の治療法の開発	※3 【注2：連携大学院分野】
151	N C C 腫瘍医科学	5230	分野長：荒川 博文 増富 健吉 浜本 隆二 安永 正浩 古賀 宣勝 植村 靖史	1.がんの発生要因とそのメカニズムに関する研究 2.がん関連遺伝子の機能とその異常に関する研究 3.がんのゲノム・エピゲノム・プロテーム解析と個別化医療への応用に関する研究 4.がん微小環境・がん幹細胞・non-codingRNA・シグナル伝達に関する研究 5.腫瘍標的分子・ドラッグデリバリー・診断治療法開発に関する研究	※4 【注1：連携大学院分野】
152	疾患多様性遺伝学	1570	田中 敏博	1.ゲノム情報・メタゲノム情報に基づく生活習慣病の遺伝学的多様性の理解 2.個別医療に資するゲノム診療マーカーの探索 3.薬理遺伝学 4.ゲノム機能学 5.遺伝統計学	M
153	NCCHD成育医学	1580	分野長：阿久津 英憲 小野寺 雅史 深見 真紀 秦 健一郎 松本 健治 高田 修治	1.受精卵の全能性獲得、リプログラミング、多能性幹細胞を対象に発生、生殖医学、疾患、再生医学研究 2.発生遺伝学、発生工学、エピゲノム解析と性分化、生殖腺形成、ゲノムインプリントの分子機構に関する研究 3.メタゲノム・エピゲノム解析と遺伝子異常の解明による先天性疾患分子基盤に関する研究 4.フローサイトメトリーにより細胞表面マーカー解析と細胞性質や免疫不全症病態の解明に関する研究 5.分子生物学的、細胞および発生工学的手法を用い、アレルギー疾患の病態発症機序と治療標的分子の解明を行う 6.メタゲノム・エピゲノム解析を駆使したシステムバイオロジーにより周産期病態の分子機構に関する研究	※5 【注2：連携大学院分野】

番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
154	応用再生医学	4470	関矢 一郎	1.幹細胞による再生医療 2.細胞治療・再生医療の実用化・産業化 3.幹細胞に対する安全性試験 4.橋渡し研究	M (SR)
155	JFCR腫瘍制御学	4460	分野長：中村 卓郎 広田 享 芝 清隆 竹内 賢吾 富田 章弘 齊藤 典子	1.発がんの分子過程と細胞起源の研究 2.がんにおける染色体動態不安定性の病態解析と、その分子背景に基づいた介入研究 3.ナノバイオテクノロジーのがん診断への応用 4.悪性リンパ腫や肺がん等のヒトがんの病理学的解析と原因遺伝子探索 5.バイオインフォマティクスを利用したがんの個別化医療と創薬基礎研究 6.がんにおける細胞核とクロマチン高次構造を介した遺伝子発現制御の研究	※6 【注2：連携大学院 分野】
156	保険医療管理学	1610	藍 真澄	1.保険診療の教育方法と教育ツールの開発および人材の育成方法 2.医療機関における診療報酬請求体制整備に関する研究 3.医療供給体制と社会保険医療システムの融合に関する研究	M
157	口腔基礎工学	1620	青木 和広	1.医歯工連携研究による新規骨形成促進剤の開発および臨床応用に向けた足場材料開発 2.口腔内細菌と全身疾患との関連—生活習慣病改善に向けた学際的取り組み— 3.口腔顎顔面領域の機能回復へのチームアプローチにおける歯科技士の役割に関する研究 4.口腔顎顔面領域の補綴的リハビリテーションに関する研究 5.チームアプローチにおける歯科技士の役割に関する研究	
158	口腔デジタルプロセス学	1630	金澤 学	1.デジタルデンティストリーの臨床への応用 2.フルデジタル可撤性義歯製作方法の開発 3.歯科疾患診断用人工知能の開発 4.デジタル化された教育手法に関する研究	D
159	口腔機能再建工学	1640	(代)若林 則幸	1.CAD/CAM等の先端技術の評価と改善、開発 2.口腔内装置制作に関わるアナログ技術の再評価 3.口腔領域で培われた制作技術の関連医療領域への応用 4.歯科技士の労働環境および職域に関する研究 5.歯科技工技術の国際標準化に関する研究	D
160	国際保健医療事業開発学	1660	中村 桂子	1.保健医療人材の国際的流動性と保健医療サービスの国際化 2.医療への公平なアクセスを可能とする医薬品開発における国際貢献 3.健康都市プログラムをふまえた社会事業開発 4.気候変動の健康影響の評価と対策 5.mHealth地域包括ケアによる多様な経済環境下における疾病管理システム開発	M
161	ゲノム健康医療学	1670	石川 欽也	1.多因子疾患の易罹患性解析、環境要因の解読、疾患予防法の解明 2.単一遺伝子異常に基づく疾患の原因と病態の解明、治療法開発	M (PH)
162	形態・生体情報解析学	1680	星 治	1.原子間力顕微鏡の医生物学分野への応用 2.染色体の高次構造解析 3.成長円錐の制御機構解析	MT
163	分子生命情報解析学	1690	(代)角 勇樹	1.幹細胞生物学 2.再生医療支援人材育成	MT
164	遺伝子細胞検査学	1700	鈴木 喜晴	1.中枢神経系における髄鞘形成と軸索恒常性のメカニズム解明と新規マーカー分子の探索 2.神経疾患・精神疾患のマウスモデル解析と分子構造異常の解析 3.細胞外マトリックス分子による細胞機能制御の解明と新規培養基質の開発	MT
165	分子病理検査学	1710	沢辺 元司 (2022.3.31定年退職予定)	1.ヒトおよびマウスにおける心臓導系の免疫組織化学的検討 2.心臓老化のプロテオーム解析 3.肝・胆道腫瘍の分子病理学的検討 4.Lipoprotein(a)の分子疫学的・臨床病理学的検討	MT
166	生体機能システム学	1720	伊藤 南	1.視覚情報統合のための生体情報処理システムの数理モデル解析 2.状況に応じた視覚情報の統合と認知のための神経メカニズムの解明 3.医療支援のための数理モデルを利用した身体情報計測法の開発	MT

番号	分野	分野コード	指導教員	研究内容	所属
167	呼吸器・神経系解析学	1730	角 勇樹	1.気管支喘息、COPD、間質性肺炎の病態解明 2.肺疾患に対する遺伝子治療、免疫治療 3.各種の非侵襲的脳機能測定法、画像解析法を用いた神経精神疾患の病態解明 4.脳波を用いたてんかんの研究 5.事象関連電位を用いた脳機能の評価	MT
168	疾患生理機能解析学	1740	柿沼 晴	1.ヒトiPS細胞を利用した疾患病態モデルと分子標的の開発 2.肝胆道疾患の発生・進展を制御する細胞間相互作用の解析 3.オルガノイド培養系を用いた肝胆膵疾患モデルの開発 4.消化器系組織幹・前駆細胞の恒常性を調節する分子機構の解明 5.肝再生と線維化を制御する分子機構の研究	MT
169	先端分析検査学	1750	大川 龍之介	1.心血管疾患発症の残存危険度を評価可能なバイオマーカーの開発 2.HDL 多様化の機序および性質・機能への影響 3.赤血球関連脂質代謝の分子機構解析	MT
170	先端血液検査学	1760	西尾 美和子	1.造血器腫瘍を中心とした分子・遺伝子学的異常の解析 2.Epstein-Barr virusによる T, NK細胞腫瘍発症のメカニズムの解明と治療法の開発 3.ヒトES/iPS細胞を用いた褐色脂肪細胞検出法の開発	MT
171	免疫病態検査学	1770	(選考中)		MT
172	分子病原体検査学	1780	齋藤 良一	1.細菌の薬剤耐性化機構 2.細菌の病原性発現制御機構 3.細菌の分子疫学	MT
173	器官発生・創生学	1790	武部 貴則	1.ヒト iPS/ES 細胞を用いた臓器発生・創生研究 2.ヒトオルガノイド技術を用いた創薬・再生医療応用研究 3.物理的な接触を介した新しい細胞間相互作用に関する研究 4.オルガノイドと機械工学・物理化学等との融合に基づくオルガノマシン研究	M
174	摂食嚥下リハビリテーション学	1820	戸原 玄	1.摂食嚥下機能に老化および身体の虚弱が及ぼす影響についての研究 2.摂食嚥下リハビリテーションの効果についての研究 3.非侵襲的誤嚥検出機器の開発に関する研究 4.簡易な口腔機能および嚥下機能評価機器の開発に関する研究 5.胃瘻ラットを用いた栄養状態や腸内細菌に関する基礎的研究	D
175	領域創成科学	1830	分野長：服部 淳彦 奈良 雅之 徳永 伸一	1.概日時計と学習・記憶機構 2.宇宙生物学とエネルギー代謝 3.生命分子スペクトル解析学 4.生命科学におけるネットワーク構造の基礎としてのグラフ理論の諸問題	【注2】
176	統合データ科学	1840	宮野 悟	1.スーパーコンピュータと人工知能技術によるビッグデータからの知識獲得 2.大規模データ解析と数理モデリングによるがんの起源と多様性の解明 3.マルチオミクス大規模データ解析の研究 4.病態のシステムモデリングとシミュレーションの研究	M&D データ科学センター
177	生物統計学	1850	高橋 邦彦	1.医歯学領域データ解析のための生物統計学的方法論の研究 2.位置情報を含む時空間データの統計学的評価に関する研究 3.副作用自発報告などのデータベースを有効活用する統計学的評価の研究 4.メタアナリシスの方法論の研究と実践	M&D データ科学センター
178	データ科学アルゴリズム設計・解析	1860	坂内 英夫	1.パターン照合・検索、特徴抽出・発見のアルゴリズムとデータ構造 2.データ圧縮・圧縮処理のアルゴリズムとデータ構造 3.文字列組合せ論	
179	AI技術開発	1870	Heewon Park	1.統計モデリングの理論及び手法論に関する研究 2.疾患のシステムの理解に向けて説明可能な人工知能技術の開発研究 3.健康・医療におけるオミックスデータ解析 4.遺伝子発現制御機構の解明に関するネットワークバイオロジーの研究	



番号	分野	分野 コード	指導教員	研究内容	所属
180	臨床統計学	1890	平川 晃弘	1.臨床研究のデザイン及び統計解析法の研究開発 2. 医療・健康分野におけるデータサイエンスの理論・実践研究 3.臨床科学のためのベイズ流アプローチの研究 4. 医薬品・医療機器等のレギュラトリーサイエンス研究	M
181	統合臨床感染症学	1900	具 芳明	1.抗菌薬適正使用の推進に関する研究 2.感染症・薬剤耐性対策の市民啓発に関する研究 3.医療関連感染症の効果的な予防と治療に関する研究 4.感染症による健康危機管理対応に関する研究	M

※ 2021年5月1日現在のデータを記載

【注1】 精神行動医科学（犯罪精神医学）、精神行動医科学（リエゾン精神医学-精神腫瘍学）、血液内科学（造血器疾患免疫治療学）、形成・再建外科学（機能再建学）、歯周病学（歯周光線治療学）への出願に当たっては、入学願書に指導教員及び各分野の主任教授両名の押印が必要となるため、入学願書が通常のものとは異なるので、ダウンロードする際は注意してください。

【注2】 連携大学院分野（理研生体分子制御学、NCNP脳機能病態学、都医学研疾患分子生物学、NCC腫瘍医学、NCCHD成育医学、JFCR腫瘍制御学）及び領域創成科学の分野長以外の教員を指導教員として出願する場合には、入学願書に指導教員及び分野長両名の押印が必要となるため、入学願書が通常のものとは異なるので、ダウンロードする際は注意してください。

【注3】 本研究科博士課程への進学を希望する者は、分野により、医学専攻（4年制）又は生命理工医療科学専攻（3年制）のいずれか一方で引き続き研究指導を行っているので、指導教員との面談の際に確認してください。

【注4】 所属欄の記号は、本研究科を構成する教育研究組織を表します。

D：歯学系                      M：医学系                      OE：口腔保健工学専攻  
MT：生体検査科学専攻        MH：医学部附属病院        BM：生体材料工学研究所  
RC：リサーチコアセンター    MR：難治疾患研究所        SR：再生医療研究センター  
ME：生命倫理研究センター    EA：実験動物センター PH：長寿・健康人生推進センター

※1：連携大学院分野（国立研究開発法人理化学研究所）  
※2：連携大学院分野（国立研究開発法人国立精神・神経医療センター神経研究所）  
※3：連携大学院分野（公益財団法人東京都医学総合研究所）  
※4：連携大学院分野（国立研究開発法人国立がん研究センター）  
※5：連携大学院分野（国立研究開発法人国立成育医療研究センター）  
※6：連携大学院分野（公益財団法人がん研究会）